

## 環境の状況

### Ⅱ 自然・生物に関するデータ (自然環境調査等)

# 1 令和4年度ほ乳類・は虫類・両生類調査

福岡市における自然環境の現状を把握するとともに、保全・創造施策の基礎資料等とするため、福岡市域におけるほ乳類・は虫類・両生類の分布状況及び生息状況を調査しています。

令和4年度 ほ乳類、は虫類、両生類調査

No.	分類群	分類			調査手法					
		目	科	種	分布状況	トラップ	無人撮影	任意		
1	ほ乳類	モグラ目（食虫目）	トガリネズミ科	ジネズミ		●				
2			モグラ科	ヒミズ		●				
3					コウベモグラ	●		●		
4		コウモリ目（翼手目）	キクガシラコウモリ科	キクガシラコウモリ	●					
5					モモジロコウモリ	●		●		
6			ヒナコウモリ科	アブラコウモリ				●		
7					ユビナガコウモリ			●		
8		ウサギ目	ウサギ科	ノウサギ	●		●	●		
9		ネズミ目（齧歯目）	ネズミ科	アカネズミ		●				
10					ヒメネズミ		●			
11					カヤネズミ	●			●	
12					ハツカネズミ		●			
13		ネコ目（食肉目）	アライグマ科	アライグマ	●		●	●		
14			イヌ科	タヌキ	●		●	●		
15					キツネ	●		●		
16			イタチ科	テン	テン	●		●	●	
17						シベリアイタチ	●			●
18						ニホンイタチ	●			
19						イタチ属※1	●		●	●
20						アナグマ	●			●
21			ウシ目（偶蹄目）	イノシシ科	イノシシ	●		●	●	
22		シカ科		ニホンジカ	●			●		
6目12科22種					14種	5種	8種	13種		
1	は虫類	カメ目	イシガメ科	ニホンイシガメ	●	-	-	●		
2					クサガメ	●	-	-	●	
3			スッポン科	ミシシippアカミミガメ	●	-	-	●		
4					ニホンスッポン		-	-	●	
5		有鱗目	ヤモリ科	ニホンヤモリ	●	-	-	●		
6					トカゲ科	ニホントカゲ	●	-	-	●
7			カナヘビ科	ニホンカナヘビ	●	-	-	●		
8					ナミヘビ科	シマヘビ	●	-	-	●
9					アオダイショウ	●	-	-	●	
10					ジムグリ	●	-	-		
11					シロマダラ	●	-	-	●	
12					ヒバカリ	●	-	-		
13					ヤマカガシ	●	-	-	●	
14				クサリヘビ科	ニホンマムシ	●	-	-	●	
2目8科14種					13種	-	-	12種		
1	両生類	有尾目	サンショウウオ科	カスミサンショウウオ	●	-	-	●		
2					ブチサンショウウオ	●	-	-		
3			イモリ科	アカハライモリ	●	-	-	●		
4		無尾目	ヒキガエル科	ニホンヒキガエル		-	-	●		
5					アマガエル科	ニホンアマガエル	●	-	-	●
6			アカガエル科	タゴガエル	●	-	-	●		
7					ニホンアカガエル	●	-	-	●	
8				ヤマアカガエル	●	-	-			
9				トノサマガエル	●	-	-			
10				ウシガエル	●	-	-	●		
11				ツチガエル	●	-	-	●		
12				スマガエル科	スマガエル	●	-	-	●	
13				アオガエル科	シュレーゲルアオガエル	●	-	-	●	
14					カジカガエル	●	-	-	●	
2目7科14種					13種	-	-	11種		

※1 シベリアイタチとニホンイタチは、姿や痕跡（足跡、糞）が酷似しており、識別困難であるため、各部位の計測やDNA分析を行ったもの以外は「イタチ属」として扱った。  
また、種名は最新の分類を反映させるため、平成29年度の調査時から「イタチ→ニホンイタチ」、「チョウセンイタチ→シベリアイタチ」に変更した。  
※2 調査後の専門家ヒアリングにおいて、対象種として扱うべきとの指摘があったため、無人撮影調査で確認したデータのみを掲載した。  
※3 は虫類及び両生類は、トラップ調査及び無人撮影調査を実施していないため、「-」とした。

## 2 令和4年度外来生物調査結果一覧

特定外来生物に指定されているアライグマの生息状況等を把握するため、捕獲及びカメラ調査を実施しています。

調査対象地区		捕獲調査 (捕獲頭数)	カメラ調査
東区	蒲田	5	-
	志賀島	-	×
博多区	月隈	0	-
	金隈	1	-
中央区	小笹	-	×
南区	平和	1	-
	柏原	1	-
城南区	南片江	1	-
早良区	入部	3	-
	椎原	1	-
	板屋	2	-
	石釜	2	-
	曲渕	1	-
	田村	0	-
西区	金武	0	-
	羽根戸	3	-
	今宿	2	-
	飯氏	0	-

※×は生息が確認されなかった地点、-は調査を実施していない地点

### 3 カブトガニの保全及び生息調査

#### 標識調査

博多湾におけるカブトガニの生息数や生息域等を把握するため、毎年度6月から9月の4ヶ月間福岡市漁業協同組合の協力のもと、漁業中に捕獲されるカブトガニについて、捕獲数、捕獲場所の記録後、成体には標識を付け、海に再放流し、再度捕獲される数や捕獲場所等を調査しています。

年 度	種 別	雄	雌	計
平成 23 年度	標識個体数	77	53	130
	再捕獲個体数	53	13	66
平成 24 年度	標識個体数	16	16	32
	再捕獲個体数	7	0	7
平成 25 年度	標識個体数	22	19	41
	再捕獲個体数	2	0	2
平成 26 年度	標識個体数	9	3	12
	再捕獲個体数	8	3	11
平成 27 年度	標識個体数	37	14	51
	再捕獲個体数	3	0	3
平成 28 年度	標識個体数	49	17	66
	再捕獲個体数	12	0	12
平成 29 年度	標識個体数	15	14	29
	再捕獲個体数	12	1	13
平成 30 年度	標識個体数	38	22	60
	再捕獲個体数	10	6	16
令和 元 年度	標識個体数	197	58	255
	再捕獲個体数	70	13	83
令和 2 年度	標識個体数	98	66	164
	再捕獲個体数	42	8	50
令和 3 年度	標識個体数	95	50	145
	再捕獲個体数	17	2	19
令和 4 年度	標識個体数	156	85	241
	再捕獲個体数	30	12	42

※標識個体：新たに捕獲し標識を貼付した個体

再捕獲個体：捕獲時に既に標識が貼付されていた個体。2回以上再捕獲した個体を含む。

## 4 みどりの現状

平成21年5月に市民意見を反映して策定した「福岡市新・緑の基本計画」に基づき、みどり空間確保のための都市公園・街路樹の整備や、市の骨格を形成するみどりや良好なみどりを保全するための緑地保全地区・緑地保全林地区を指定しています。

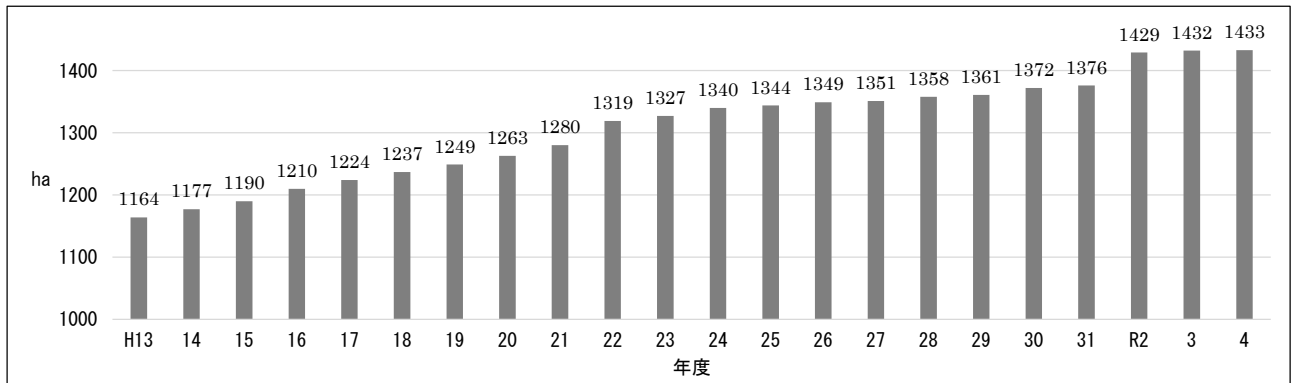
市街地においては、代表的なみどり空間として、大濠公園、舞鶴公園、南公園があり、都市公園の面積は年々増加しています。

### ●都市公園の状況

(令和5年3月31日現在)

区分	総計	住区基幹公園				都市基幹公園		特殊公園			大規模公園	都市緑地	緑道
		幼児	街区	近隣	地区	総合	運動	風致	歴史等	墓園			
箇所	1,697	656	711	75	10	9	6	13	4	3	1	184	25
面積(ha)	1,432.6	21.9	158.3	123.1	51.8	264.6	103.5	98.8	17.7	60.0	415.9	94.7	22.2

### ●都市公園面積の推移



### ●風致地区・特別緑地保全地区・緑地保全林地区・市民緑地・保存樹・緑地協定区域

(令和5年3月31日現在)

区分	風致地区		特別緑地保全地区		緑地保全林地区		市民緑地		保存樹 (本)	緑地協定区域	
	地区	面積(ha)	地区	面積(ha)	地区	面積(ha)	地区	面積(ha)		地区	面積(ha)
全市	12	441.3	71	117.5	18	3.40	1	2.8	1,678	15	47.3
東区	3	49.2	14	30.6	2	0.52	1	2.8	134	10	36.3
博多区	2	10.5	8	14.9	2	0.36	-	-	246	0	0
中央区	5	266.5	15	25.3	3	0.47	-	-	193	1	1.9
南区	1	89.0	22	28.5	6	1.09	-	-	247	0	0
城南区	-	-	2	2.3	1	0.15	-	-	80	1	2.1
早良区	-	-	3	5.6	2	0.48	-	-	366	3	7.0
西区	1	26.1	7	10.3	2	0.33	-	-	412	0	0

## 5 水辺環境

市街地の沿岸部は、ベイサイドプレイス博多埠頭やシーサイドももち海浜公園等を整備し、親水空間として活用されています。

市街地中心部を流れる河川は都会のオアシスとしての水辺空間であり、室見川や那珂川河畔の公園は日常生活圏の市民の憩いの場として利用されています。